

平成25年度
福岡市 公共事業事後評価 資料

都市再生整備計画「香椎副都心地区」

様式2-1 評価結果のまとめ

都道府県名	福岡県		市町村名	福岡市		地区名	香椎副都心地区			面積	600 ha			
交付期間	平成21年度～25年度		事後評価実施時期	平成25年度		交付対象事業費	8,078百万円	国費率	0.4					
1) 事業の実施状況	当初計画に位置づけ、実施した事業	基幹事業	事業名 ○地域生活基盤施設(千早並木広場、西鉄香椎駅自転車駐車場) ○高次都市施設(地域交流センター(公民館)) ○土地区画整理事業(香椎副都心、香椎駅周辺)											
		提案事業	○地域創造支援事業(香椎駅周辺土地区画整理事業(市単独分)、自転車対策事業、老人いこいの家整備、貼り紙防止対策事業、千早社会実験) ○事業活用調査(事業効果把握調査)											
	当初計画から削除した事業	基幹事業	なし		削除/追加の理由			削除/追加による目標、指標、数値目標への影響						
		提案事業	なし											
	新たに追加した事業	基幹事業	○公園(御島崎緑地) ○高質空間形成施設(香椎川)		安全・安心で快適な居住環境の向上の取組みの充実を図るため追加			指標2居住人口に関係するが、他の事業と合わせて効果を発揮するため目標値は据え置く						
	提案事業	なし												
	交付期間の変更	当初	平成21年度～25年度		交付期間の変更による事業、指標、数値目標への影響									
		変更	なし											
2) 都市再生整備計画に記載した目標を定量化する指標の達成状況	指標		単位	従前値	目標値		数値		目標	1年以内の	効果発現要因	フォローアップ		
				基準年度	目標年度	モニタリング	評価値	達成度	達成見込み	(総合所見)	予定時期			
	指標1	駅乗降客数	万人/年	1,711	H19	1,730	H25	2,089	○	あり なし	土地区画整理事業の実施により良質な宅地が整備・供給され、住宅や施設整備が進化したことにより、居住人口や交流人口が増加し駅乗降客数の増加につながった。	平成26年8月頃		
	指標2	居住人口	人	55,045	H20	58,000	H25	59,330	○	あり なし	良質な宅地が整備・供給され、住宅立地が促進されたことに加え、広場の整備、歩行空間の確保、河川の安全性向上など居住環境の向上に係る取組みが居住人口の増加に貢献した。	平成26年4月頃		
	指標3	放置自転車率	%	8.0	H19	8.0	H25	0.9	○	あり なし	駐輪指導や放置自転車の撤去などの放置自転車対策の取組みが放置自転車率の低下につながった。	平成26年10月頃		
指標4	公民館利用者数	人/年	169,271	H19	173,000	H25	208,800	○	あり なし	地域のコミュニティ活動に対する公民館の取組みの充実のほか、公民館や老人いこいの家の改築により利便性が向上し利用者数の増加に貢献した。	平成26年7月頃			
3) その他の数値指標(当初設定した数値目標以外の指標)による効果発現状況	指標		単位	従前値	目標値		数値		目標	1年以内の	効果発現要因	フォローアップ		
				基準年度	目標年度	モニタリング	評価値	達成度※1	達成見込み	(総合所見)	予定時期			
その他の数値指標1	なし													
4) 定性的な効果発現状況	○改築した公民館の利用者アンケート調査では、83%(改築前は知らない人を除く)の人が改築前より使いやすくなったと評価されている。また、改築前は知らない人が16%おり、新たに転入してきた人や従来は公民館を利用していなかった人にも利用され、地域コミュニティ活動の活性化につながっていると考えられる。 ○千早並木広場整備及び千早社会実験の事業を通じて、地域との共働による広場の利活用や管理運営の仕組みが形成され、また、イベントの企画運営のノウハウが蓄積され地域住民主体でのイベント実施の環境が整った。													
5) 実施過程の評価				実施内容				実施状況				今後の対応方針等		
	モニタリング	—							都市再生整備計画に記載し、実施できた 都市再生整備計画に記載はなかったが、実施した 都市再生整備計画に記載したが、実施できなかった				—	
	住民参加プロセス	①「千早並木広場活用検討協議会」での検討と協議会によるワークショップ、イベントの開催 ・地域との共働による広場の管理運営の社会実験を実施			都市再生整備計画に記載し、実施できた				●				①協議会での検討を通じて、広場の管理運営方法が確定したので、平成24年度末で協議会は解散し、市と地域団体との役割分担のもと、広場の管理運営を実施。	
		②「香椎」街づくり推進協議会での検討 ・説明会等を開催、まちのルールづくりを検討			都市再生整備計画に記載はなかったが、実施した								②「香椎」街づくり推進協議会では、引き続き公共施設の空間デザインの検討など、香椎のまちの再生に向けた活動を行い、市はこれを支援。	
持続的なまちづくり体制の構築	○地域団体「ちはやふるかしい21」の機能強化			都市再生整備計画に記載し、実施できた								・ちはやふるかしい21が主体的に行う地域の交流・賑わい創出イベントについては、共催事業等として市がその取組みを支援。		
	・地域団体が地域住民主体のイベント(社会実験)の企画運営の中心的役割を担い、活動を通じて、まちづくりやコミュニティ形成に向けての交流・賑わい創出イベント等の主体として機能が強化			都市再生整備計画に記載はなかったが、実施した				●				・広場の維持管理は市が行い、広場の日常清掃等は公園愛護会としてちはやふるかしい21が実施。		
				都市再生整備計画に記載したが、実施できなかった										

様式2-2 地区の概要

香椎副都心地区(福岡県福岡市) 都市再生整備計画事業の成果概要

まちづくりの目標	目標を定量化する指標		従前値		目標値		評価値	
大目標 交通結節機能の強化や多様な都市機能の導入等による東部副都心にふさわしい広域的な都市づくり 目標1 魅力あふれる都市拠点づくり 目標2 安全・安心で快適な居住環境の向上 目標3 地域コミュニティの形成	駅乗降客数	単位:万人/年	1,711	H19	1,730	H25	2,089	H25
	居住人口	単位:人	55,045	H20	58,000	H25	59,330	H25
	放置自転車率	単位:%	8.0	H19	8.0	H25	0.9	H25
	公民館利用者数	単位:人/年	169,271	H19	173,000	H25	208,800	H25

土地区画整理事業(香椎副都心)
(名島千早線沿道の状況)

高次都市施設(香椎公民館)
老人いこいの家(公民館と合築)

土地区画整理事業(香椎駅周辺)
(香椎駅北線沿道の状況)

公園(御島崎緑地)
(緑地の保全)

地域生活基盤施設(千早並木広場)

貼り紙防止対策事業
(道路照明灯の貼り紙防止塗装)

高質空間形成施設(香椎川)
(護岸の改修)

地域生活基盤施設
(自転車駐車場、西鉄香椎駅)

自転車対策事業
(放置自転車の撤去)

まちの課題の変化

- ・土地区画整理事業等による基盤整備が進展し、良質な宅地の整備・供給により住宅や施設立地が進み、居住人口や駅乗降客数は増加しているが、なお、基盤整備が未整備な区域が残されている。今後は、建築物の立地や都市活動の展開を促進するとともに、副都心にふさわしい広域的な都市機能の立地を促進していく必要がある。
- ・放置自転車対策等の実施により放置自転車率は大きく改善され、また老朽護岸の改修等により安全・安心で快適な居住環境の向上は進んだが、放置自転車対策の継続的実施や未改修の老朽護岸の対策が必要である。
- ・公民館・老人いこいの家の改築により、地域コミュニティ活動の場が充実し公民館利用者数も増加したが、地区内には老朽化等により改築が必要な公民館等が多く残されている。

今後のまちづくりの方策(改善策を含む)

- 魅力あふれる都市拠点づくり
 - ・実施中の土地区画整理事業を推進するとともに、地域の街づくり団体の活動を支援し、魅力ある香椎のまちづくりを進める。
 - ・商業・業務機能の立地・誘導を図るとともに、文化・行政サービス等の広域的都市機能の充実を図る。
 - ・歩行空間の魅力を高める取り組みを展開し、まちの回遊性の向上を図る。
- 安全・安心で快適な居住環境の向上
 - ・放置自転車対策の継続的実施による快適な歩行空間の確保、改善が必要な老朽護岸等の整備の計画的推進により、居住環境の向上を図る。
- 地域コミュニティの形成
 - ・地域コミュニティ活動の場となる公民館及び老人いこいの家の改築等を計画的に推進する。
 - ・広場の利用・管理のための仕組みを適切に運用し、イベントの開催など広場の利用・管理運営の主体となる地域団体の活動を支援する。